

茨城大学フロンティア応用原子科学研究センター 研究部門ワークショップ

茨城大学の研究・教育システムの改組により量子線科学専攻が開始し、その現場としてのフロンティア応用原子科学研究センターの役割も大きく変わるタイミングにあります。また、センターの大きなミッションである J-PARC MLF での BL 装置運営プロジェクトの更新および第 3 期中期計画が平成 30 年度にせまっております、センター研究部門の新たな役割（先導研究など）にも目を向ける必要があります。

センター長をはじめセンターでの活動に新たな参画メンバーが揃ったこのタイミングで、研究部門のユニット化による体制作りを進めるキックオフの意味を込めたワークショップを一堂に会して行うこととしました。まずは各研究ユニットのプラン概要をもとに部門内での情報共有を図り、先々の学際化や組織的資金獲得につなげたいと思います。

日時 5/25 (水) 15:00 - 17:30

場所 IQBRC (フロンティアセンター) 講義室 C204

15:00-15:05 開会の辞 (伊賀副センター長)

15:05-15:25 研究部門のユニット化, 方針, 今後の予定 (岩佐)

ユニットの概要説明

- 15:25-15:45 JRR-3, 小型源ユニット (岩佐 UL + α)
- 15:45-16:05 iBIX 活用ユニット (田中 UL + α)
- 16:05-16:25 生体系活性水素研究ユニット (高妻 UL + α)
- 16:25-16:45 ソフトマターユニット (小泉 UL + α)
- 16:45-17:05 物性物理ユニット (伊賀 UL + α)

17:05-17:30 議論

18:00 懇親会